

タコツボ・フグカゴ漁

天草市牛深町

- ・タコツボ
タコを壺で捕獲する。兵庫県明石がその発祥の地といわれる。漁獲されるタコは、体が傷つかないため珍重とされる。
- ・フグカゴ
フグをカゴで捕獲する。シロサバフグを専門に漁獲し、シロサバフグはトラフグの代用品として流通していたが、近年、各産地でブランド化が進められている。牛深では「金ぶく」と呼ばれている。



タコツボ投入

タコツボ漁:タコの住処となるタコツボを投入し、後日、回収して中に入っているタコを捕獲する漁法。

フグカゴ漁:フグカゴと呼ばれるステンレス製の蒲鉾型のカゴに餌を入れ、40m～50m間隔でロープを結合したものを沈め漁獲する漁法。



餌（サバ）を入れたフグカゴを投入

漁の時期:周年

禁漁期:自主的にタコは9月から12月、フグは8月10日から9月10日



引き上げられたツボの中に入っているタコ



漁獲されたふぐをカゴから取り出す

タコツボ・フグカゴ漁師の年間の漁スタイル(一例)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
フグカゴ漁		モジャロ漁		タコツボ漁				フグカゴ漁			
ヒラメ建網											

1日のスケジュール

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
タコツボ漁			操業					帰港・水揚				休憩									操業			
フグカゴ漁										操業					帰港・水揚									休憩